

中央区環境行動計画事業の目標達成状況

資料 1

1 地球環境 ー地球温暖化対策が進んでいるまちをつくりますー

施策の柱	計画事業	平成29年度末目標 (A)	平成27年度実績 (B)	平成27年度末累計 (C)	達成率 (C/A)	平成27年度・取組成果	課題と方向性
家庭や事業所における環境負荷の低減	事業所向け二酸化炭素排出抑制システムの普及	認証530社	認証4社	認証72社	13.6%	申請が2社、認証が4社であった。	認証事業所のさらなる増加に向け、「区のおしらせ中央」や事業所向け環境講座、(一財)都市整備公社、東京商工会議所との連携など、さまざまな機会を捉え積極的に普及を図る。
	家庭向け二酸化炭素排出抑制システムの普及	参加600世帯	参加68世帯	参加608世帯	101.3%	参加世帯68世帯、認証が23世帯であった。目標である参加600世帯を達成することができた。	参加家庭のさらなる増加に向け、「区のおしらせ中央」や子どもとためす環境まつり、消費生活展などのイベントにおいて、積極的に普及啓発を図る。
省資源の推進	資源回収品目の拡大	14品目	17品目	17品目	121.4%	平成27年4月から小学校等18カ所毎週土曜日に行なっている拠点回収に加え、かざぐるま明石町・箱崎町でも小型家電(小型電子機器等)の回収箱を設置するとともに、回収品目について回収箱投入口(10cm×25cm)に入る小型家電に拡大するなど、区民の利便性の向上を図った。	地球的規模の水銀汚染の防止を目的とした「水銀に関する水俣条約」の採択に伴い、水銀の適正な処理を行う必要があるため、平成28年4月から毎週土曜日に小学校等で実施している拠点回収において家庭から排出される体温計・血圧計・温度計(水銀式のもの)を新たに回収品目とし、適正排出と資源化の拡充を図っていく。
環境教育・環境学習の推進	環境学習の推進	幼稚園 16回/年 小学校 16回/年 保育園等 8回/年	幼稚園 7回/年 小学校 4回/年 保育園等 6回/年	幼稚園 7回/年 小学校 4回/年 保育園等 6回/年	42.5%	平成26年度と比較し、保育園での環境学習が1回増え、全体で17回行った。	区立の学校(園)に対しては、毎年実施を促す通知をしているが、これまで開催していない学校(園)がある。環境学習実施のメリットを強調して周知し、開催校(園)を増やしていくことに取り組んでいく。 また、子どもの頃から環境に配慮した行動を身につけてもらうため、平成28年度から環境学習で学んだ実践部分として、給食を残さず食べる、ごみと資源の分別を行うなど、一定期間継続した活動・取組みに対し学校(園)へ感謝状を贈呈する。
広域的な環境協力	中央区の森	33.5ha	3.71ha	33.21ha	99.1%	(数馬地区) 間伐3ha、下刈り6.5ha、花が見られる森づくりのための花苗植栽520本(ヤマブキやホタルブクロなど) (南郷地区) 広葉樹育成作業0.71ha、下刈り2ha、広葉樹植栽1425本	事業充実に向けて、より多くの区民や事業者に対し「中央区の森」の魅力を発信し、事業の周知を図っていく。また、区内事業者・団体等が本事業に参加しやすいように仕組みを工夫し、檜原村における森林保全活動および自然・文化の体験などを通して、檜原村との交流を促進していく。

2 都市環境 ー環境負荷の少ないまちをつくりますー

施策の柱	計画事業	平成29年度末目標 (A)	平成27年度実績 (B)	平成27年度末累計 (C)	達成率 (C/A)	平成27年度・取組成果	課題と方向性
ヒートアイランド対策	空地および区の施設の緑化推進	31施設	屋上緑化 1施設 壁面緑化 1施設	屋上緑化 28施設 壁面緑化 15施設	138.7%	区内公共施設において、屋上緑化および壁面緑化各1施設の整備を行った。	公共施設の新築や改築に併せて、屋上、壁面等の緑化を積極的に行う。
	遮熱性舗装道路の整備	127,390㎡	1,230㎡	51,162㎡	40.2%	遮熱性舗装の整備を計画的に実施し、環境負荷の低減を図った。	事業を計画的に実施することで、環境負荷の少ないみちづくりを推進していく。
水資源の保全と活用	車道透水性舗装の導入	11,630㎡	1,084㎡	6,079㎡	52.3%	車道透水性舗装の整備を計画的に実施し、環境負荷の低減を図った。	事業を計画的に実施することで、環境負荷の少ないみちづくりを推進していく。
良好なまちなみや景観の形成	街角広場の整備	27か所	1か所	18か所	66.7%	街角広場として、女橋緑地帯に植栽やベンチの設置を行い、地域に親しまれる憩いの場とすることができた。	地域に親しまれる憩いや交流の場となるようベンチ・花壇等を設置するとともに、地域のランドマークとして景観に配慮した整備を行う。
	緑道の整備	整備延長1,650m	整備延長128m	整備延長963m	58.4%	亀島川では緑道整備を行い、水辺に親しめる憩いの空間を創出するとともに、地域の交流の場とすることができた。	人々が散策路として安全・安心に楽しめるよう、段差解消などのバリアフリー化を進めるとともに、季節の草花を植栽し快適でうるおいのある緑道を整備していく。

3 生活環境 —健康で快適に暮らせるまちをつくります—

施策の柱	計画事業	平成29年度末目標 (A)	平成27年度実績 (B)	平成27年度末累計 (C)	達成率 (C/A)	平成27年度・取組成果	課題と方向性
自動車対策の推進	駐輪場の整備	23か所	0か所	20か所	87.0%	東京駅周辺において、歩道上への駐輪場3か所の増設に向け、道路管理者・交通管理者と協議を行った。	東京駅周辺において、歩道上への駐輪場3か所の増設を図るとともに、銀座六丁目の再開発において地下機械式駐輪場を整備する。
	低騒音舗装道路の整備	117,640㎡	3,675㎡	58,382㎡	49.6%	低騒音舗装の整備を計画的に実施し、環境負荷の低減を図った。	事業を計画的に実施していくことで、環境負荷の少ないまちづくりを推進していく。
近隣騒音・まちの美化対策の推進	地域美化活動への区民・事業者の参加促進	クリーンデー参加団体数 309団体 まちかどクリーンデー参加登録数 220件	クリーンデー 17団体増 まちかどクリーンデー 11件増	クリーンデー参加団体数 269団体 まちかどクリーンデー参加登録数 233件	87.1% 105.9%	クリーンデー、まちかどクリーンデーともに事業所を中心として、参加団体数・登録数が増加した。 ・クリーンデー 269団体(前年度比17団体増) ・まちかどクリーンデー 233件(前年度比11件増)	参加団体数・登録数の増加に向けて周知・啓発に取り組み、地域の美化意識の向上を図る。

4 自然環境 —水辺や緑に囲まれたまちをつくります—

施策の柱	計画事業	平成29年度末目標 (A)	平成27年度実績 (B)	平成27年度末累計 (C)	達成率 (C/A)	平成27年度・取組成果	課題と方向性
花とみどりのまちづくりの推進	公園・児童遊園の整備	公園53園 児童遊園38園	公園 0園 児童遊園 0園	公園54園 児童遊園33園	101.9% 86.8%	(新設箇所 なし)	本区において、公園や児童遊園の新設用地を確保することは困難であるが、人口の増加に伴う区民等の憩いや遊び、運動の場の充実を図るため、大規模開発や公共用地の活用等による公園等の新設や拡張に努める。
	街路樹の整備	7,195本	45本	6,851本	95.2%	道路改修等に併せて2路線に36本(オカメザクラ23本、ハナミズキ13本)の新規植栽を行った。また、再開発事業により、1路線に9本(ハナミズキ5本、ソヨゴ4本)の新規植栽を行った。	高木と中・低木等を組み合わせた多層化・連続化により緑の量的拡大を図る。併せて、花の咲く木や紅葉が美しい木など特徴ある樹種を地域の要望を踏まえながら植栽することにより、沿道の価値やまちのイメージの向上などにつなげていく。
生き物を育む空間の形成	朝潮運河護岸環境整備の推進	整備延長2,810㎡	整備延長 0m	整備延長 398m	14.2%	月島二丁目先において、護岸上部修景の詳細設計(延長:約300m)を行うとともに、地元説明会を1回開催した。	東京都による内部護岸の耐震化整備と連携し、朝潮運河や新月島運河などの水辺整備を進めていく。

5 地域の環(わ) —区民・事業者・区が協働して、楽しみながら環境活動を実践しているまちをつくります—

施策の柱	計画事業	平成29年度末目標 (A)	平成27年度実績 (B)	平成27年度末累計 (C)	達成率 (C/A)	平成27年度・取組成果	課題と方向性
区民・事業者・区の連携の促進	区民・事業者・区の連携による環境活動	平成20年度設立 (環境区民会議)	—	6回開催	達成	開催実績なし	区民、事業者等の自主的・自発的な環境活動を促進する場として機能してきたが、新たな活動拠点(環境情報センター)が整備されたことにより、一定の役割は果たしたと考えている。 今後は、環境情報センターを活用した会議の運営方法を検討していく。
	環境情報施設の整備	1か所	—	—	達成 (平成25年6月開設)	講座・ワークショップやパネル展等を開催し、区民等の環境問題への関心を高めるとともに、環境活動団体の活動内容の紹介・展示など、区民・事業者・団体等の交流を促進した。 ・来館者数 30,204人 ・環境活動登録団体 35団体 ・中央エコキッズ登録人数 102人	さらなる利用向上を図るため、講座やイベントの実施や企画展示等、事業内容の充実を図り、環境情報の発信、人材の育成、区民・環境活動団体等の多様な主体の交流の場として活用していくとともに、さまざまな機会をとらえて施設の周知に努めていく。